

伝統の民家 魅力知つて

安曇野



「現代の暮らしに民家を生きる」民家フォーラム2011 in 信州」が5日、安曇野市の安曇野スイス村で6日までの日程で始まった。屋外会場では、中南信地方特有の民家「本棟造り」の柱や梁を実際に組み立て、高い所からもちや裏子を投げる上棟式の実演も行われた。

伝統的な民家を再生し、次世代に引き継ぐことを目的に活動するNPO法人「日本民家再生協会」(東京都)が主催。同法人の県支部「信州民

「協会」がフォーラム 上棟式の実演も

シンポジウムでは、松本市で建築設計事務所を経営する川上恵一さんが、昔ながらの本棟造りや蔵造りの民家に断熱材を入れ、天窓を設けるなどして住環境を改善した例を紹介。「100年もたせるためには、外観だけでなく基礎をしっかりとすることが重要」と指摘した。

会場では、民家で実際に暮らす同協会会員が生活ぶりを紹介したり、相談に乗ったり。木製いすの作製や箸作りが無料で体験できる。家族で訪れた長野市の会社員男性(33)は「いい物件に巡り合えれば住んでみたい」と話していた。

6日は、県内高校生を対象にした古民家などを撮影した写真コンテストの表彰式もある。

家の会」が中心になって企画した。